

1学期も折り返しを過ぎて…

5月31日(月)6校時の学年集会の前半では、新学期がスタートして1ヶ月半が経過しての学年のようすについての振り返りを行いました。学年としての課題であった「8時25分までに登校し着席する」という約束については、少しずつ改善しつつあります。「3分前着席」のように、自分で考えて行動するような部分については課題が残っています。また、教育実習開始ということで、教師に対する言葉遣いや関わり方についても、もう一度見直そうという話もしました。



「先輩の話を聞く会」を実施しました

5月31日(月)6校時の学年集会の後半では、上級学校調べの一環として、2学年の英語と保体の授業を担当する2人の教育実習生に、三中卒業生である先輩として高校などの話を聞く「先輩の話を聞く会」を行いました。3組学級代表の [] と4組学級代表の [] がインタビュアーになり、対談形式で、2人の教育実習生から、高校生活のことや進路選択のことなどについての話を伺いました。

実体験を踏まえながらの実習生の話は、説得力があり、生徒たちにとって大変興味深かったようです。生徒たちは、メモを取りながら、最後まで熱心に話を聞いていました。また、ユーモアも織り交ぜながらのインタビュアー2人のトークも大変上手でした。

最後の質問コーナーでは、「モチベーションが上がらないときの勉強法は？」や「英語の効率的な勉強法は？」などの質問が生徒から出ました。1つ1つの質問に対して、真摯に答えている実習生の姿が印象的でした。生徒たちにとって大変有意義な時間になったと思います。前期教育実習は、来週6月18日(金)まで続きます。



2学年校内少年の主張大会

6月7日(月)の5校時に、2学年少年の主張大会が生徒会本部役員の進行のもと体育館で行われました。各クラスの予選会を経て選ばれた4名の代表者が、堂々とした態度で自分の主張を発表しました。今年度は、学校代表は3年生からの選出になりましたが、どの代表生徒も素晴らしい発表でした。教師による審査の結果、2年2組の■■■■の「自分の価値観」が最優秀賞に選ばれました。



【栗原賞】■■■■
「誰もが自分らしく」



【岩上賞】■■■■
「私たちの学校」



【ケイイ賞】■■■■
「叶えたい夢」

上級学校調べの発表会を行いました

6月3日(木)の5校時に、これまで各自が調べた私立及び公立高校について、教室内で発表会を行いました。クラスを6つの生活班に分け、その中で、各自が調べた高校について順番に発表し合ったり、質問し合ったりしながら、どのグループも楽しそうに発表会を行っていました。3学期には、高校の先生に実際に三中に来ていただき、高校の話をしていただく機会を持ちたいと考えています。



期末テスト2週間前

6月23日(水)～25日(金)の3日間、期末テストがあります。明日がちょうどテスト2週間前となります。6月3日(木)にテスト範囲が配られ、2週間の学習計画作りを行いました。中間テストが終わったばかりですが、しっかりとその反省を生かしてほしいと思います。今回は9教科になるので、先を見通して計画的に学習を進めてほしいと思います。さて、3組では学級独自の取組として、6月3日からの3週間で「全員で累積1000時間学習しよう」という目標を立てたようです。教室前面に大きな模造紙が貼られていました。一人一人学習の仕方は様々ですが、質と量のバランスを上手く取りながら、それぞれの目標に向かって充実した取組にして欲しいと考えています。

進路情報

栃木県立足利高等学校

令和4年度4月入学者(現中学3年)から、足利高校と足利女子高校は統合して、男女共学の足利高校になります。(単位制)

校舎については、令和4年度と令和5年度は現在の足利高校。令和6年度中に、現在の足利女子高校+市民会館の場所に新校舎が完成予定。

6月9日(水)以降の予定

月 日	曜	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	行事・その他
6/9	水	①	②	③	④	⑤	⑥	S校時短縮・掃除あり・部活なし・内科検診(女子)
6/10	木	特設	特設	特設	特設	/	/	前期指導主事訪問 16時まで自宅学習
6/11	金	①	②	③	④	⑤	⑥	漢検
6/12	土							
6/13	日							
6/14	月	①	②	③	④	⑤	/	学年集金日 職員会議
6/15	火	①	②	③	④	⑤	⑥	
6/16	水	①	②	③	④	⑤	⑥	S校時・清掃なし・専門委員会
6/17	木	①	②	③	④	⑤	⑥	
6/18	金	①	②	③	④	⑤	⑥	
6/19	土							
6/20	日	部活なし期間スタート～6/24まで						
6/21	月	①	②	③	④	⑤	/	制服点検 短縮5時間 市夏季大会組合せ会議
6/22	火	①	②	③	④	⑤	⑥	
6/23	水	学	社	数	保	/	/	期末テスト1日目、給食なし
6/24	木	学	英	技	国	/	/	期末テスト2日目、給食なし
6/25	金	理	音	③	④	⑤	⑥	期末テスト3日目
6/26	土							
6/27	日							
6/28	月	①	②	③	④	全校集会	/	S校時・⑤全校集会(放送)・事務処理日
6/29	火	①	②	③	④	⑤	⑥	⑥道徳→情報モラル講習会(2年生)
6/30	水	①	②	③	④	⑤	⑥	

7月の主な行事予定

- 1日(木)事務処理日のため、4校時・給食あり・清掃なし・部活動なし
- 7日(水)専門委員会
- 12日(月)学年集金日
- 20日(火)終業式・給食なし・県総体壮行会・市選手結団式
- 26日(月)三者面談開始(～8/6) 県総体開会式
- 27日(火)～8/1(日)県総体

「美しい人」という言葉を聞くと、皆さんはどのような人を思い浮かべるだろうか。無意識に思い浮かぶのは、目鼻立ちの整った、所謂美人の姿が多いと思う。

平安時代に書かれた「紫式部日記」では、美人の条件としてこう書かれている。「色白が良い」「おでこはふっくらと丸みを帯びているのが良い」「鼻は長かったり大きかったりせず、赤くない」現代でも、美人の条件について書かれたネットの記事を見ると、「目は大きく二重まぶた」「鼻筋が通っている」「輪郭が細く、彫りが深い」などと書かれている。

この二つに共通するのは、美人についてある程度決まった顔立ちのことを指していることだ。私はこのことに違和感を感じる。人の美しさを計る物差しは、自分の価値観であって、世間に浸透している美人顔のイメージではないのだ。そもそも、世間に浸透している美人顔のイメージの根拠やその由来が不明だ。そのようなものに振り回されてよいのだろうか。

私はこう思う。人の美しさは顔立ちではない。自分が綺麗だと思える姿をする自由と、自分なりの美しさを確立する自由。この二つこそが人の美しさだと思う。

まず、自分が綺麗だと思える姿をする自由とは何か。それは、世間の固定観念や現代の流行に囚われず、自分が心から好きだと感じる姿をすることである。皆が皆、無意識に浸透した美人という、同じような顔をして、常に変わり続ける流行を必死で追い続けたものを身にまとい、個性も何もない姿をしている。そのような姿より、自分の好きを追究した姿で、それぞれの個性を身にまとっている方が、私は素敵だと感じる。

自分なりの美しさを確立する自由についても、考えの土台は同じだ。皆さん一人一人、好きな食べ物も、お気に入りの曲も違うだろう。それと同じで、自分がいいと思う顔立ちも、素敵だと感じる服装も違うのではないだろうか。そして、周りの人が世間の固定観念や比較的好む人が多いタイプの姿と違うと感じたとき、その人を無意識に快く思わない人もいるかもしれない。それが原因のいじめも存在する。

イギリスの哲学者スチュアート・ミルは、このように言う。「人間が高貴で美しいといえる人物になるのは、個性を全てなくして画一的になることではない。他人の権利と利益をおかしてはならないという条件のもとで、個性を育て際立たせることによってである。」

人それぞれ、個性を尊重する権利があり、それを大切にしていけるべきなのだ。

「富崎さんって可愛くない」馬鹿にしたように陰で笑っていた知り合いがいた。きっとその人は、美人の条件として、二重まぶたがあげられる中、私の一重の目に注目して口にしたのだと思う。それを機に、私は自分の顔が嫌いになり、目の形を変えるような器具やマッサージを続けた。しかし、そのような日々は尊敬する人の言葉により終わった。

「限られた世界の価値観に縛られるな。」この言葉は私に大切なことを気付かせてくれた。私は限られた価値観に、根拠のない美人像に縛られていたのだ。

多様性が注目されるこの時代。自分の好きな美しさを追究していくのが良いと思う。例えば、トランスジェンダーの方たち。最近では、注目され尊重され始めているが、未だに完全には受け入れられていない。自分の周りの人と違う感性を自信を持って表現し、輝いている人を素晴らしいと感じる。しかし、自分の感性が間違っていると考え、隠して悩んでいる人もいる。そのような人にも自信を持って自分を表現してほしい。この世界にいる人たちの感性に間違ったものなど何一つとしてないから。周りの目が気になるからできないという人もいるだろう。無責任に周りなんか気にするなどは言えない。でも、そのような人たちが自信を持てる世の中になったらいいと思う。

自分が綺麗だと思える姿をする自由と、自分なりの美しさ確立する自由。この二つこそが人の美しさだと思う。もって生まれた顔や性別に囚われず、それぞれの価値観を大切にすることこそ美しいのだ。自分はそう思わないという人がいても良い。一人一人の価値観は違うから。ただ、その異なる価値観で誰かが悲しむことのない世界を願うだけ。

と、これが私の理想の世界だが、実現のために私に何が出来るだろう。考えた結果、私自身が自分なりの美しさを追求し発信していく必要があるとの結論に至り、その第一歩としてここに述べさせて頂いた。どなたか一人でも、このテーマに関心をもって下されば嬉しい。

皆さんは、自分のどのような価値観で、どのような美しさを自由に楽しめますか。